

第19回女性起業家大賞・スタートアップ部門特別賞

障がい児を持つ家族への安らぎの場を
目指して



特定非営利活動法人アイル
代表理事
西方啓子（にしかた・けいこ）

自身の経験を生かして
地元の秋田で起業を決意

当社は、0歳から幼稚園児までの
児童発達支援と、小学生から高校
生までの障がい児の通所やショ
ートステイができる事業所として、
保護者が安心して子どもを委ねら
れる安らぎの場を提供しています。

北海道に住んでいる孫が、自閉
症スペクトラム症候群で児童発達
支援事業所へ通所することになり
ました。子どもの頃からダウン症
のいとこと育った私は、秋田でた
くさんの障がい児施設や障がい者

施設を見てきましたが、孫が通所
している北海道の事業所では、支
援体制が整っていて驚きました。
そこに通う子どもたちはとても楽
しそうに過ごしていたので、今は、
障がいがある子どもたちやその家
族の助けになる施設がある、とい
うことを知りました。

ところが秋田へ帰郷後、県内に
はショートステイは全くなく、児
童発達支援事業所さえない地区が
あることが分かりました。障がい
児を持つ家族は、精神的・肉体的
にも解放される時間を持つことが
できません。また、冠婚葬祭など
では、周りの目が気になる状況で
あっても、参加しなくてはならな
い場合もあります。そんな時に宿
泊で預かってもらえる場所があれ
ばいいのに、と悩んでいる家族がい
るに違いない、そういった人たちの
力になりたいと思ったのが、秋田
で起業を決意したきっかけでした。

支援体制を整えた
息抜きの場を提供

当社では、研修を受けた専門員
によるパソコン学習や、スポーツ
クラブと連携した体操教室などの
サービスを取り入れてきました。
体を動かすことは、発達を促すだ
けでなく、ストレス解消にも効果
を発揮します。これは家族の負担
を軽減につながる大切なことです。

また昨年4月には、発達障害に
よる不登校の児童のためのフリー
スクールを行う合同会社を立ち上
げました。これまでのフリースター
ルでは、グレーゾーンのある児童
は通所が難しく、勉強の準備も親
がしなくてはならない状況で、送
迎も含め親子に負担が掛かってい
ました。今後はこれらのサービ
スのほか、対人関係の促進を目的
としたソーシャルスキルトレーニング
による療育や、簡単につくれるメ
ニューの調理から片付けまでをみ
んなで協力して行う食育、さら
には重症心身障がい児のメデイカ
ルケア・入浴などの療育にも力を入
れていく予定です。

障がい児を持つ家族は、本人の
ことばかりではなく、仕事、家族
兄弟のことなどのさまざまな悩み
を抱え、周りに理解してくれる人
も少なく、日々もんもんとしてい
る人が多くいます。

子どもが学校に行けないという
状況だけでも親の精神的な負担は
大きく、苦労しているにもかかわらず、
落ち着ける場所が見つから
ない。そんな人々を手助けし、子
どもたちの笑顔と家族からのあり
がとうの言葉を頂けるよう、これ
からも療育とその家族のレスパ
イトケア（息抜き）の場を提供し、
児童発達支援事業者として地域に
貢献していきたいと思えます。



スポーツクラブのインストラクターが指導する体操
教室

会社データ

社名 NPO法人アイル
所在地 秋田市保戸野桜町15-39
電話 018-866-1121
創業 2016年
事業概要 児童発達支援、放課後等
デイサービス・フリース
クール、障がい児童ショ
ートステイ

【秋田商工会議所】

放課後等デイサー
ビス・フリースク
ールHPIはこちら

